

2023年6月22日

c/o ヴェルデ島海峡を守ろう (Protect VIP)

info@ceedphilippines.com

117C Matatag Street, Barangay Central

Diliman, Quezon City 1100

〒100-8176 東京都千代田区大手町1-5-5 大手町タワー

株式会社みずほフィナンシャルグループ

取締役 兼 執行役社長 グループCEO

木原 正裕様

Re: ヴェルデ島海峡を守ろう！ヴェルデ島海峡を破壊する企業への融資の撤回と禁止を

木原様

フィリピンには、「海のアマゾン」と呼ばれるヴェルデ島海峡 (VIP: the Verde Island Passage) があります。東南アジアのコーラル・トライアングルの中心に位置するVIPには、10キロ圏内に300種以上のサンゴと1,736種以上の近海魚種が生息しており、世界で最も生物多様性の豊かな海洋生息地となっています。VIPは、サンゴ、サンゴ礁に棲む魚類、軟体動物、マングローブ、海草、鯨類にとって優先順位の高い保全地域に指定されています。何百万人ものフィリピン人の生計手段や栄養の源であり、自然との一体化を欲する観光客の人気スポットでもあります。

残念なことに「海のアマゾン」は、SMCグローバル・パワー・エクセレント・エナジー・リソーシズ社 (EERI) のバタンガス・コンバインドサイクル発電所事業 (バタンガス州、170万キロワット) を含む、化石燃料ガス発電所とターミナルの大群の脅威にさらされています¹。

私たち「ヴェルデ島海峡を守ろう (Protect VIP)」ネットワークは、170万キロワットのバタンガス・コンバインドサイクル発電所を含む化石燃料ガス事業がもたらす環境破壊と、VIPに依存する200万人以上のフィリピン人の生計手段や栄養源に与える危険性について、強く反対し、大変憂慮してきました。私たちは、最前線のコミュニティや漁民団体、市民社会とともに、VIPにおける当事業やその他の化石燃料ガス事業の環境社会影響について懸念を表明してきました。SMCグローバル・パワー、EERI社に対する調査や苦情申し立ての結果、政府の許認可要件の遵守に関する重大な欠陥も明らかになった。すなわち、拙速な土地転換、ココナツの木の違法伐採、発電目的の水利用許可の欠如といった問題や、環境適合証明書 (ECC) の条件に基づく特定の報告要件を遵守しなかった問題があり、これらはすべ

¹ SMC Global Power, Disclosure Statement.

https://smcglobalpower.com.ph/storage/files/reports/Other%20Disclosures/SMC_Global_Power_Disclosure_6.9_21_2.pdf

て、幾つかの法律の中でも、特にフィリピンの環境影響評価プロセスに複数の点で違反する結果となっています。

サンミゲルが計画しているガス事業は、フィリピンでの全ガス拡張計画の半分を占め、東南アジアでは突出した最大規模のものになります。フィリピンのネットゼロシナリオに化石燃料ガスの余地はありません。フィリピンが2035年までに電力部門で全ての化石燃料を段階的に廃止することは極めて重要であり、多くの市民団体はさらに早い期限を要求しています。フィリピンには約800ギガワットの膨大な再生可能エネルギー源があるため、真に持続可能な電力に支えられた未来への転換を早めることができます。それに続いて、投資先が再生可能エネルギーにシフトされなければなりません。

さらに、SMCグローバル・パワーの親会社であるサンミゲル社は、東ミンドロ州沖で転覆した90万リットルの産業用油を積んだタンカーが起こした最近の油流出にも関与していました。油は浜辺を黒く染め、死んだ魚が漂着し、マングローブは枯死しています。この油流出が始まって以来、2万人近い漁民が漁業活動禁止により生計手段を奪われています。

2022年、サンミゲルは国内最大の配電事業者メラルコとのガス・石炭固定費契約二件における電力料金値上げを求めました。化石燃料価格の変動により最大150億ペソの損失が出たと報告されているからです。この要請は規制当局によって却下され、サンミゲルは現在、当該契約を解約するための法廷闘争を繰り広げています。最新の年次報告書では、サンミゲルの電力部門の営業利益は前年比22%の赤字でした。最近、フィッチ・グループもサンミゲルが直面している流動性問題に警鐘を鳴らしました。一方、サンミゲルのEERI発電所事業は、今年初めに配電事業者メラルコとの契約を打ち切った後、電力供給契約がないまま完成に近づいています。

この1ヶ月間、「ヴェルデ島海峡を守ろう」キャンペーンは、ヴェルデ島海峡での化石燃料ガスへの投融資を打ち切るよう、欧州²と米国³の金融機関に働きかけました。その結果、先月のシエルの株主総会では、DWSがヴェルデ島海峡について質問をしたのに加え、米国の(複数の)銀行は(化石燃料の)代わりに再生可能エネルギーへ投資するべきという呼びかけに対し、好意的な反応を示しました。

私たちは本書簡で、欧米の金融機関に対する呼びかけと同様、貴行に対し、生物学的に多様性豊かで極めて重要な生態系や生息地を危険にさらし、それによって重大なレピュテーション・リスクをもたらす企業への金融支援を撤回・禁止することによって、ヴェルデ島海峡を保護する行動を早急にとるよう要請します。

² The Guardian, Filipino activists appeal to British banks over region devastated by oil spill. <https://www.theguardian.com/environment/2023/may/05/filipino-activists-appeal-to-british-banks-over-region-devastated-by-oil-spill-aoe>; Reuters, Filipino priest on mission in Europe to halt fossil fuel financing.

³ Business Mirror, Activists to ask US banks, financiers to stop funding marine corridor's destruction. <https://businessmirror.com.ph/2023/06/21/activists-to-ask-us-banks-financiers-to-stop-funding-marine-corridors-destruction/>